

成田空港を活用した 経済活性化戦略の取り組み

がんばろう！干練



チーバくん

成田空港をとりまく最近の動き

国際・国内線の新規就航

【JAL】

ボストン線の就航（4月22日）
サンディエゴ線、ヘルシンキ線が
今年度内に就航予定

【ANA】

新潟線の就航（3月25日）
シアトル線・サンノゼ線が今年度
内に就航予定、ミャンマー線が再開
予定

LCCの就航

【ジェットスター・ジャパン】

7月に国内線就航予定
成田からは札幌（新千歳）・大阪
（関西）・福岡・沖縄の4路線

【エアアジア・ジャパン】

8月に国内線就航予定
成田からは札幌（新千歳）・福岡
・沖縄の3路線
10月に韓国線就航予定

ビジネスジェットの受け入れ態勢整備

ビジネスジェット専用ターミナル
のオープン（Business Aviation
Terminal-Premier Gate）
連続駐機可能日数を30日に拡大
オンラインでの利用申請開始

LCCターミナルの整備

暫定国内線施設による受け入れ
専用ターミナルについて2014年
度中の完成を目指す

『成田空港を活用した経済活性化戦略』 - 4つの戦略

第2回グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議でのプレゼンテーション

成田空港を活用した経済活性化のための4つの戦略

戦略1: 30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす

- ① ビジネス・観光の目的地（集客施設や観光地、展示会・会議など）の育成や魅力向上に取り組む
- ② 成田空港という優位性を活かした産業振興に取り組む
- ③ 国内線を積極的に活用する仕組みを作る

戦略2: 県内外と成田のスムーズな人・物の流れを強化する

- ① 新たな顧客である国内線利用者の利便性を向上させる
- ② 空港から県内外への交通アクセスをさらに充実させる

戦略3: 成田空港をはじめとした千葉県のみならず「宝」を積極的に発信していく

- ① 千葉の魅力を国内外に広く発信していく
- ② 成田空港のアクセス向上・機能充実をきちんと知ってもらう

戦略4: 成田空港の活用に向けて総合的に取り組む

今回の『戦略の取組み』について

4つの戦略とその方向性はそのままに
現在の主な取組みの状況を整理し、
今後、戦略の効果的実施のために考えられる取組みと実施主体の提案を行う

戦略1：30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす

ビジネス・観光の目的地（集客施設や観光地、展示会・会議など）の育成や魅力向上に取り組む

《方向性》

空港に近い優位性を活かした国際会議、展示会などの誘致を推進する
成田国際空港都市と成田市以外の国際会議観光都市（千葉市・木更津市・浦安市）の連携によって各都市の魅力を高め、MICE誘致を図る
国際空港である成田空港を活かしたインバウンド観光を促進する
新たな集客施設の設置可能性について検討する

現在進めている取組み

県

【IRの検討】

平成23年度に実施した「カジノ・MICE機能を含む複合施設の導入検討調査」の結果を踏まえ、庁内プロジェクトチームなどでさらに検討を進める。

県・
市町村

千葉インバウンド
促進協議会

ちばプロモーション
協議会

【成田空港を活かしたインバウンド観光の促進】

知事のトップセールス（外客誘致・千葉の魅力のPR等）
外国人によるモニターツアー・ファムトリップの実施
海外映画・ドラマ等ロケ誘致事業
海外からの個人旅行客への対応（モデルコースの設定・外国語による広報など）
外国人観光客受け入れ態勢の整備（外国人向けパンフレットの作成や外国語ホームページによる情報提供）

**戦略1：30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす
成田空港という優位性を活かした産業振興に取り組む**

《方向性》

空港周辺への関連産業集積を進める

- ・エアライン・食品・高付加価値部品・物流などの関連産業の集積を目指す
- ・圏央道沿線などの立地優位性の高い地域における工業団地整備を行う
規制緩和など、ビジネス環境整備を進める
県内企業の海外展開を進める

現在進めている取組み

県・
市町村

【関連産業の集積】

立地企業補助金等を活用した企業誘致の推進
袖ヶ浦椎の森工業団地2期・3期用地、茂原にいはる工業団地用地を活用した工業団地の整備

県

経済団体
(県内企業)

【県内企業の海外展開】

中小企業の海外展開（販路拡大）の支援（貿易・投資相談、専門家派遣等）
民間経済団体による国際経済交流の推進

戦略1：30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす 国内線を積極的に活用する仕組みを作る

《方向性》

- 国内線利用者を県内観光地へ誘導する
 - ・新たな観光需要の掘り起こし
 - ・県内観光地への交通アクセスの向上
- ・観光資源の掘り起こし・観光ルートの開発・受け入れ態勢の整備
- 国内線利用者の利便性の向上を目指す
 - ・成田空港の国内線エリアのサービス施設の充実
 - ・ビジネス需要への対応強化
- 国内線の利用促進を図る（国内線の維持・強化）
- ・国内線需要の創出に取り組む

現在進めている取組み

県・
市町村

【国内線の利用促進】

- 国内線就航先との連携強化（就航先の訪問・交流）
- 修学旅行の誘致
- 新規就航歓迎行事におけるPR

新規就航歓迎行事におけるPR

成田－新潟線新規就航歓迎行事

（平成24年3月25日）

知事や周辺市町の首長が成田空港で第一便を出迎え、記念品の配布・マスコットキャラクターによる歓迎・観光PRなどを実施



戦略2：県内外と成田のスムーズな人・物の流れを強化する 新たな顧客である国内線利用者の利便性を向上させる

《方向性》

- 増加が見込まれる国内線利用者（非乗継客）の利便性向上を目指す
- ・国内線利用者の増を踏まえた県内からの交通アクセスの利便性向上を図る
 - ・早朝便対応のための早朝のアクセスについて検討する

現在進めている取組み

県・
市町村

交通事業者・
エアライン

鉄道の接続改善・高速バスの路線開設・運行本数の増加などの検討
警備の質を落とさず検問をソフト化できないかの検討

空港から県内外の目的地までの交通アクセスをさらに充実させる

《方向性》

- 空港アクセス時間の短縮・定時性の確保を目指す
- 空港へアクセスする高規格幹線道路について、災害時のリダンダンシーの観点からも複数のネットワークを確保する

現在進めている取組み

県・
市町村

交通事業者

【空港アクセス時間の短縮・定時性の確保】

- 圏央道・外環道・北千葉道路などの早期完成に向けた整備促進
- アクアラインの恒久的な料金引き下げに向けた国への要望
- 都心等との鉄道短絡線の検討
- バス利便性の向上・県内外を結ぶ鉄道の利便性の向上の検討

戦略3：成田空港をはじめとした千葉県のさまざまな「宝」を積極的に発信していく 千葉の魅力を国内外に広く発信していく

《方向性》

- 「千葉ブランド」を確立し、千葉の魅力を発信していく
- ・地域と一体となった魅力の発掘・ブラッシュアップに取り組む・海外向けの情報発信を充実させる
- ・空港での情報発信を充実させる
- 伝えたい相手に応じたきめ細かいPRにより魅力を伝える
- ・対象別のニーズ把握を行う ・効果の高い対象へ重点的なPRを行う

現在進めている取組み

県・
市町村

観光事業者

農林水産事業者

- ・テレビ・ラジオ・新聞・交通広告などを活用した千葉の魅力発信
- ・空港内や観光施設内でのPR（観光情報センター等の設置・PR）
- ・知事のトップセールスなどを活用した海外での千葉県の魅力や農林水産物のPR
- ・旅行会社や現地メディア等に対するセールス強化
- ・外国プレスを活用した海外への情報発信
- ・チーバくん大使による海外への情報発信



チーバくん大使による情報発信



県立・市町村

The national park of the city. The city is a beautiful place to visit. The park is a beautiful place to visit. The park is a beautiful place to visit.

The national park of the city. The city is a beautiful place to visit. The park is a beautiful place to visit. The park is a beautiful place to visit.

The national park of the city. The city is a beautiful place to visit. The park is a beautiful place to visit. The park is a beautiful place to visit.



台湾でのトップセールス

戦略3：成田空港をはじめとした千葉県のさまざまな「宝」を積極的に発信していく 成田空港のアクセス向上・機能充実をきちんと知ってもらう

《方向性》

- 国内線の認知度を向上させる
- 空港からのアクセス向上の認知度を上げる
- ・成田空港は遠いとのイメージ・心理的バリアを払しょくする

現在進めている取組み

県・
市町村

交通事業者・
エアライン

国内線の充実・アクセス改善に関する情報発信（新規就航歓迎行事等におけるPR）

ジェットスター・ジャパン就航記念イベント
（平成24年4月17日・秋葉原UDX）
京成電鉄・千葉県・JRによる空港アクセスPR



地元9市町・NAA・県等で構成する
地域振興連絡協議会の国内線PRポスター



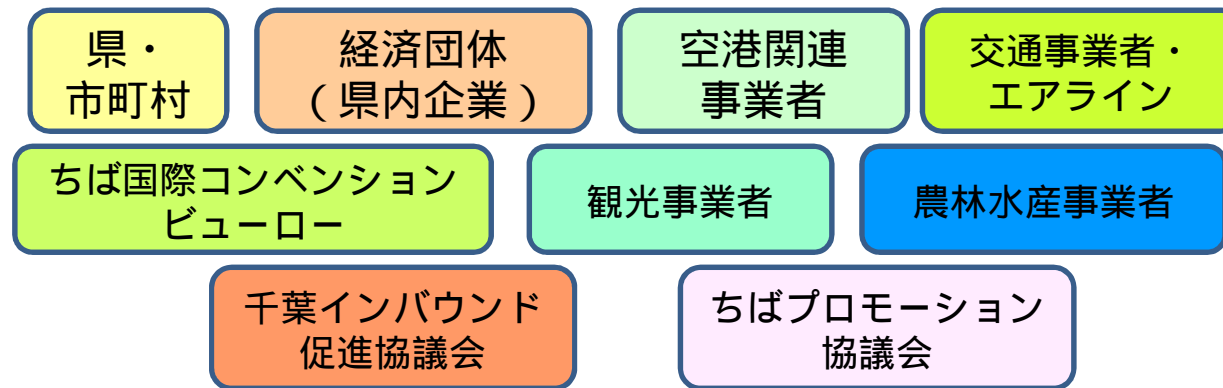
戦略4：成田空港の活用に向けて総合的に取り組む

《方向性》

行政はもとより「グレード・アップ『ナリタ』活用戦略会議」の構成員が、それぞれの立場で国内・国際線の誘致活動や公共交通の充実等、成田空港の利便性向上・活性化に積極的に取り組むことが重要。そのため、官民一体となった広報や活用キャンペーン、ニーズ等の調査分析、情報交換や総合調整等、関係機関が一体となった多岐にわたる総合的な活用組織が必要となる。



成田空港活用促進協議会（仮称）の立ち上げ



成田空港活用促進協議会（仮称）の活動（イメージ）

今後協議会で想定される活動内容のイメージ
（具体的な組織・活動内容については今後検討）

戦略 1 -

県・
市町村

千葉インバウンド
促進協議会

ちばプロモーション
協議会

交通事業者・
エアライン

【観光振興・MICE誘致】

海外共同プロモーション

観光PR・外客誘致・MICE誘致を目的として、自治体・観光関連事業者・交通事業者などが海外就航地への共同ミッション派遣・共同プロモーションを実施する

国内共同プロモーション

観光PR・相互交流を目的として、自治体・観光関連事業者・交通事業者などが国内就航地・就航候補地への共同ミッション派遣・共同プロモーションを実施する

県内の目的地の魅力向上のための意見交換・情報交換の場の設定

観光事業者・MICE事業者・交通事業者・在葉外国人・行政など、幅広い参加者による検討を行う

【取り組み事例】

（例）インバウンド促進事業

（中部国際空港利用促進協議会）

・自治体・観光事業者等が参加して海外で観光セミナー・商談会及び現地旅行会社や大使館を訪問してインバウンド誘致・中部地域の認知度向上・観光PRを実施

戦略 1 -

経済団体
(県内企業)

交通事業者・
エアライン

【成田空港を活かした産業振興】

経済団体（県内企業）・交通事業者（エアライン含む）との意見交換会の実施
県内企業のビジネス（出張・輸出入等）にとって使いやすく、お互いにメリットのある提携を進める

【取り組み事例】

(例) フライ・セントレア意見交換会の実施
(中部国際空港促進協議会)

中部地区を拠点とする海外出張の多い企業の役員秘書や、海外出張の担当者と、セントレアに就航中の航空会社の営業担当者との懇談会を実施

戦略 1 -

県・
市町村

経済団体
(県内企業)

交通事業者・
エアライン

物流関連事業者

【成田空港を活かした産業振興】

既に物流機能が集積している成田空港のポテンシャルを活かした支援
共同輸送事業や貨物取扱量の増に対する支援など

戦略 1 -

県・
市町村

ちばプロモーション
協議会

交通事業者・
エアライン

【国内線誘致】

官民一体となった国内線誘致活動の実施
就航候補地への訪問・相手先と連携した路線誘致活動など

戦略1 -

県・
市町村

ちばプロモーション
協議会

交通事業者・
エアライン

【国内線の積極的な活用】

国内線を利用して来葉する国内客向けの利用促進策（観光地とのセット割引きっぷ・レンタカー割引など）の検討

LCCを含め、新たな路線である国内線を県民や企業が円滑に利用できるようなアシスト・コーディネート提供の検討

戦略2 -

県・
市町村

交通事業者・
エアライン

経済団体
(県内企業)

【空港から県内外へのアクセス強化】

空港の利便性向上・空港の活用のために必要なインフラ整備について、民間事業者・自治体が一体となって国等へ要望を行う

【取り組み事例】

(例) 国等の要望活動の実施

(関西国際空港全体構想促進協議会)

国家戦略としての関西国際空港の国際競争力の強化・アクセス改善等について国へ要望書を提出

戦略3 -

県・
市町村

観光事業者

【千葉の魅力を国内外に広く発信】

外国語による総合的な情報発信

官民一体となって国内外の就航地・就航候補地への訪問・イベントへの出展などを行うことにより、千葉の魅力を総合的にアピールする